

令和4年度第1回南部山塾を開催しました

令和4年5月23日

仙南・仙塩広域水道事務所工業用水道管理事務所

令和4年5月19日（木）、工業用水道管理事務所において今年度最初の南部山塾を開催しました。

開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策に十分留意しながら実施しました。

南部山塾は今年度新たに仙南・仙塩広域水道事務所や工業用水道管理事務所へ異動となった職員を中心に、(株)みずむすびサービスみやぎの職員2名を加え、総勢11名が参加しました。

工業用水管理事務所職員が講師となり、バルブ・空気弁・空気弁副弁の構造及び機能、管路上の設置箇所とそれぞれの役割と必要性について講義を行いました。あわせて、地震による空気弁の被害（破損）事例について説明しました。

実技として、空気弁・空気弁副弁の実物を用い、その構造等について確認しました。特に空気弁については、実際に充水し、空気弁の動きについて参加者に体感してもらいました。また、場内に設置されているバルブや空気弁についても、マンホールの種類の違いによる道具や開閉方法の違いを実際に操作し、体験してもらいました。

今回の南部山塾は、送水管路には必ず設置されている設備の講義であり、また、昨年度発生した漏水事故の復旧に係る充水作業の際の実体験を踏まえた講義内容となっており、送水管の漏水事故などへの対応の備えとして、必要となる実務を学ぶ大変よい機会となりました。

